

# 患者の皆様へ

平成 28 年 6 月 2 日  
呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「N2 リンパ節転移陽性症例における、術前リンパ節診断法の違いが予後に与える影響について」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では肺癌患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

- 1. 研究課題名：** N2 リンパ節転移陽性症例における、術前リンパ節診断法の違いが予後に与える影響について
- 2. 研究の意義・目的：** 予期しない N2 症例における術前リンパ節転移診断法の違いが予後に与える影響について後方視的に検討し、今後の術前リンパ節診断法の最適化を検討する。
- 3. 研究の方法：** 千葉大学医学部附属病院にて超音波気管支鏡検査及び手術を施行した患者様の臨床データを解析・検討します。
- 4. 対象期間：** 2008 年 4 月から 2015 年 4 月までの間において、超音波気管支鏡検査及び肺癌の手術を受けられた患者様が対象となります。
- 5. 個人情報の取り扱い：** 患者様の氏名や情報が特定されることのないように、匿名化してデータの解析・検討を行います。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。
- 6. 研究等の実施場所等：** 解析およびデータ保存は千葉大学医学部附属病院呼吸器外科臨床研究室内の鍵のかかる部屋で厳重に保管、管理します。
- 7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について：** ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。文部科学省、厚生労働省が定める「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

**本件のお問合せ先** : 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

**医師** 中島崇裕・豊田行英・佐田諭己

**043(222)7171 内線 6762 呼吸器外科受付**